

## 折り込みチラシなどの効果に期待

神奈川地方協力本部横浜中央募集案内所（所長 宮山2陸尉）は、8月15日（土）、担当6区の読売新聞に、自衛官等制度説明会の折り込みチラシ約10万部の配布を依頼した。

これは、横浜市の新聞サービスセンター所長を務める募集相談員の協力により実現したものである。

また、一人でも多くの人に自衛隊の理解と興味を深めてもらうため、担当区内の町内会掲示板にも自衛官募集ポスター掲示を依頼した。町内会掲示板は6区合わせて約7,000箇所あり、案内所は自衛官募集の宣伝効果に期待している。

横浜中央募集案内所は、「今後も、募集相談員の協力を得て、多くの方々に自衛隊を理解して頂き、志願者の増加に繋がりたい」としている。

## 中学生に対する「職業体験」を支援

神奈川地方協力本部横浜出張所（所長 赤塚3陸佐）は、9月10日（木）、横浜市立城郷中学校生徒8名に対し、「総合的な学習の時間」の一環として、海上自衛隊横須賀地方総監部における職業体験の支援を行った。

当日は、台風18号の影響が残り、小雨交じりのあいにくの空模様であったが、曳船や高速機動艇の体験乗船では、普段見ることのできない洋上からの風景に、生徒たちからは歓声が上がるとともに積極的に質問をする姿が見られた。また、午後には最新護衛艦「いずも」の艦内見学を行い、乗組員の居住区画や設備の整った医務室、航空管制室などを見学した。特に、艦長席は生徒たちに大人気で、我先にと座席へ向う姿も見られた。生徒からは、「とても貴重な体験ができ、自衛隊の仕事についてもっと知りたくなった」との声も多く聞かれた。

横浜出張所は、「今後も、積極的に職業体験を支援し、自衛隊の仕事に対する理解を深めていきたい」としている。



体験クルーズにいざ出発！



僕は管制官



気分は艦長

## 大和市中学校長会議で募集制度説明

神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 酒井1海尉）は、9月14日（月）、大和市内下福田中学校で行われた中学校長会議に参加し、大和市内全公立中学校9校の校長に対し、陸上自衛隊高等工科大学を中心に募集制度説明を行った。本会議への参加は、大和市募集相談員である青木氏が下福田中学校長へ働きかけたことにより実現したものである。これまで厚木募集案内所は進路担当者に対する制度説明のみを実施していたが、直接校長に募集制度を説明する機会を得たことにより、各校の自衛官募集に対するより深い理解が期待できた。説明終了後に各校長からは、「学校卒業後はすぐ部下を指導する立場に就くのですか？」「最終階級はどのくらいまで昇任するのですか？」などの質問があり、細部にまで関心があることを伺い知ることができた。

厚木募集案内所は、「今後も、あらゆる機会を生かして学校にアプローチすることで、効果的な組織的募集活動ができるよう努力していく」としている。



会議冒頭で挨拶する所長